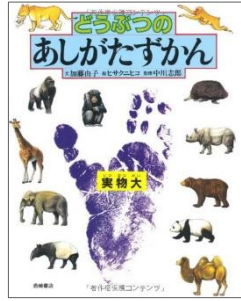


どうぶつのあしがたずかん

加藤由子 文、ヒサクニヒコ 絵、中川志郎 監修 岩崎書店 1500 円



いろんな動物のあしあとが、実物大でのっています。足の裏ってじっくり見たことありますか？

かずあそび ウラパン・オコサ

谷川晃一 作 童心社 1300 円



1と2だけでかずあそびをしよう！「1はウラパン、2はオコサ」。かずがふえたら どうするの？ あら、ふしぎ！なんでも かぞえられる、とてもたのしい かずあそびえほん。

エルマーのぼうけん



ルース・スタイルズ・ガネット 作、ルース・クリスマン・ガネット 絵 わたなべしげお 訳 福音館書店 1200 円



エルマーは、ととったのらねこから、どうぶつ島に捕らえられているかわいそうなりゅうの子の話聞き、助けに行きました。何度も動物たちにつかまりそうになりますが、じょうずに切り抜け、無事りゅうの子を助け出しました。

かさぶたくん

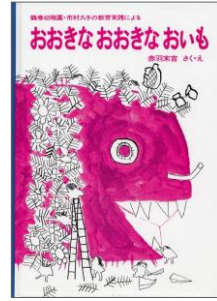
やぎゅうげんいちろう 作 福音館書店 900 円



「とりたいなあ とりたいなあ かさぶたとりたいなあ」 ついつい とってしまいたくなる かさぶた。でも、かさぶたは むりに とっては いけないのです。かさぶたの やくわりが よくわかる本です。

おおきなおおきなおいも

赤羽末吉 作／絵 福音館書店 1200 円



いもほりえんそくが雨で延期になってしまいました。「みんなで、おいもの絵をかこう！」そのおいもの大きさといったら…？！リアルなタッチの大きなおいもの絵が魅力です。

三びきのこぶた

瀬田貞二 訳、山田三郎 画 福音館書店 900 円



1匹めと2匹めのこぶたは家を吹き飛ばされ、おおかみに食べられてしまいます。家を吹き飛ばされなかった3匹めのこぶたは、おおかみの誘いを知恵で切り抜け、最後はおおかみを食べてしまいます。

じごくのそうべえ 桂米朝・上方落語・地獄八景より

たじまゆきひこ 作 童心社 1500 円



軽業師のそうべえは、つなわたりの失敗で、三途の川をわたることに。そこで出会ったゆかいな人たちと、地獄めぐりがはじまります。

ブックリスト

本のもり

小学校低学年編

わくわく・どきどきするお話や、しらべる本など たくさんありますよ。さあ、本のとびらをひらいてみよう！

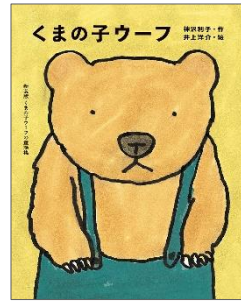
（全6種は7ページ）
カラーのリスト

★シリーズあり

くまの子ウーフ



神沢利子 作、井上洋介 絵 ポプラ社 1300 円



くまの子ウーフが、次から次へと思いうかぶおもしろい疑問を、きつねのツネタやうさぎのミミたちと一緒に考える、楽しいおはなし。

かにむかし

木下順二 文、清水崑 絵 岩波書店 800 円



「はよう 芽を だせ かきのたね、ださんと、はさみで、ほじりだすぞ」かにかが、ひとつぶのかきのたねをひろって庭にまいてそだてていました。そこへずるいさるがやってきて…。繰り返されるリズムカルな言葉が親しまれる日本の昔話です。

これはのみのぴこ

谷川俊太郎 作、和田誠 絵 サンリード 1800 円



これはのみのぴこ。これはのみのぴこのすんでいるねこのごえもん。これはのみのぴこのすんでいるねこのごえものしっぽふんずけた…。という繰り返しのリズムを、楽しんでください。

あかてぬぐいのおくさんと7にんのなかま

イ ヨンギョン 文／絵、かみやにじ 訳 福音館書店 1500 円



おはりのとてもじょうずなおくさんは、大切な七つのおはり道具を持っています。ある日、おくさんがうたたねをしていると、おはり道具が、自慢話をしだします。

すてきな三にんぐみ

トミー＝アンゲラー 作、いまえよしも 訳 偕成社 1200 円



どろぼう三にんぐみは、夜になると金持ちの馬車をねらって、お金や宝石をうばいます。ある日、小さな女の子のティファニーちゃんをつれさった三にんぐみは…。

ぼくは王さま

寺村輝夫 作、和田誠 絵 理論社 1200 円



ある日王さまのうちに赤ちゃんが生まれました。お祝いに国中の人たちに王さまの大好きなたまごやきをふるまうため、ぞうのたまごを探しに家来が向かいます。ぞうのたまごは見つかるのでしょうか？ 他、楽しいお話が4つ。

番ねずみのヤカちゃん

リチャード・ウィルバー 作、大社玲子 絵、松岡享子 訳 福音館書店 1300 円



あるお家にお母さんねずみと4ひきの子ねずみたちが、人に気づかれないよう、静かに住んでいました。でも末っ子のヤカちゃんは、とてつもなく大きな声が出てしまうのです。ほらやっぱり大変なことが起こりましたよ！

京都市図書館では、子どもの読書活動の推進について、関係団体の皆様と『子どもの読書活動推進のための懇談会』を設け、協議しています。平成13年12月、「子どもの読書活動の推進に関する法律」が制定されたことを記念して、平成14年4月に子どものためのブックリスト「本のもり」を作成しました。

このリストには、図書館や書店・子ども文庫で出会ってほしい本を、各年代別に30冊選びました。このブックリストが、子どもが本を読むきっかけになれば幸いです。 令和5年3月

子どもの読書活動推進のための懇談会

- ・京都市小学校図書館研究会
- ・京都市立中学校教育研究会図書館教育部会
- ・京都市PTA連絡協議会
- ・京都市子ども文庫連絡会
- ・京都府書店商業組合
- ・京都市私立幼稚園協会
- ・京都市保育園連盟
- ・こどもみらい館子育て図書館
- ・京都市教育委員会
- ・(公財)京都市生涯学習振興財団

問い合わせ先：(公財)京都市生涯学習振興財団 総務課企画係(京都市図書館担当) 電話 075-802-3145

※ 表示価格は税抜き本体価格です。

こぐまのくまくん



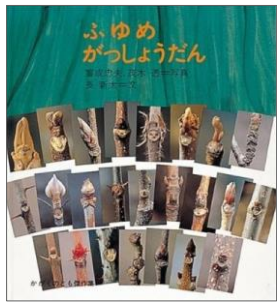
E.H.ミナリック 文、モーリス・センダック 絵
まつおかきょうこ 訳 福音館書店 1000円



ゆきを見て寒がるくまくんにお母さんは…。親子のほほえましい会話と、お母さんのぬくもり、やさしさが伝わってくるお話です。他三話収録。

ふゆめ がっしょうだん

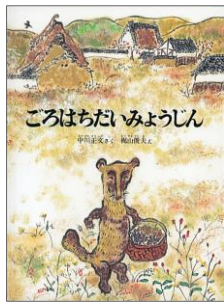
富成忠夫、茂木透 写真、長新太 文 福音館書店 900円



木の芽の冬のすがたを拡大した写真集。一つ一つよく見ると、ウサギやコアラなどの顔に見えてくる。外に出て観察したくなるよ。リズムカルな詩も楽しいです。

ごろはちだいみょうじん

中川正文 作、梶山俊夫 絵 福音館書店 900円



村の人をだましては、よろこんでいるたぬきは、いつの日からか、ごろはちだいみょうじんとよばれています。人とたぬきの心あたたまるお話。

はじめてのキャンプ

林明子 作／絵 福音館書店 1200円



「わたしもキャンプにいく！」小さいなほちゃんは、大きい子どもたちのキャンプにいっしょに行くことになりました。小さいのに泣かずにできるのかな？さあ、いよいよ出発です。

たんぽぽ

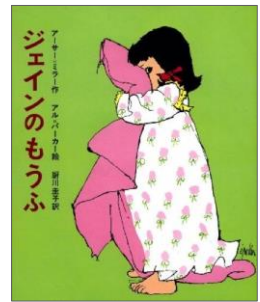
甲斐信枝 作／絵 金の星社 1300円



春をつげるたんぽぽ。土の中から生まれ、綿毛となって大空を旅する。次はどこで生まれるのかな？大人も一緒に楽しめる、うつくしい絵本です。

ジェインのもうふ

アーサー＝ミラー 作、アル＝パーカー 絵、厨川圭子 訳 偕成社 1200円

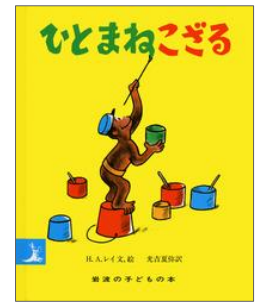


ジェインは、ピンク色のもうふが大好きでした。ほっぺに、もうふがびたりとくっついていると、安心して眠れました。ジェインが大きくなり、もうふはどんどんすりきれて、小さくなってしまいます。ジェインは、大事なもうふと、ずっと一緒にいられるでしょうか。

ひとまねこざる



H.A.レイ 文／絵、光吉夏弥 訳 岩波書店 800円



ある朝、動物園からぬけだしたジョージは、色々な事に挑戦することに。お皿を洗ったり窓をふいたり、部屋にジャングルの絵を描いたり…。知りたがりやのこざるがくりひろげる、ユーモアたっぷりの絵本です。

こすずめのぼうけん

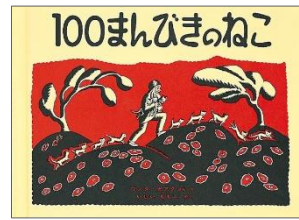
ルース・エインズワース 作、石井桃子 訳、堀内誠一 画 福音館書店 900円



ようやく飛べるようになったこすずめは、ひとりで見知らぬせかいにとびたちます。つかれて休みたくなったこすずめは、お母さんのまつ巣にかえろうとしますが…。

100まんびきのねこ

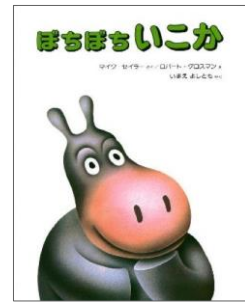
ワンダ・ガアグ 文／絵、いしいももこ 訳 福音館書店 1000円



むかしおじいさんとおばあさんがすんでいました。あるひかわいいねこをかうことにしました。ねこがたくさんいる丘からいちばんかわいいねこをつれてかえろうとしましたが…。

ぼちぼちいこか

マイク＝セイラー 作、ロバート＝グロスマン 絵 しまえよしと 訳 偕成社 1200円



“ぼく しょうぼうしになれるやろか…？”無器用なカバくん、何回失敗してもめげずにがんばります！とぼけた絵と関西弁がとてもたのしい絵本です。

ガンピーさんのふなあそび



ジョン・バーニンガム 作、みつよしなつや 訳 ほるぷ出版 1400円



ふねをもっているガンピーさん。こどもたち、うさぎ、ねこ、ぶた、ひつじ、にわとり、こうし、やぎ…。つぎつぎとみんなのをせたふねは、びっくりかえてしまいました。

ゆきひらの話

安房直子 作、田中清代 絵 偕成社 1200円



おばあさんが、かぜをひいてひとりでねていました。「こんなときにだれかいてくれたらねえ」と台所のあたりでコトコト音がします。「だれですか」「ぼく、ゆきひらです」それは昔よく使っていた、なつかしいおなべでした。

ポリーとはらぺこオオカミ



キャサリン・ストー 作、掛川恭子 訳 岩波書店 1100円



ポリーは、おりょうりのじょうずな女の子です。オオカミがポリーをたべようとやってきますが、おいしいパイやケーキをたべすぎて、「もうなにもたべられないよ！」

しずくのぼうけん

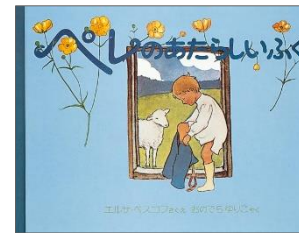
マリア・テルリコフスカ 作、ポフダン・ブテンコ 絵 うちだりさこ 訳 福音館書店 900円



バケツのしずく。ふとしたことから川へ、海への大冒険。雨となり、蒸気となり雲となり、いろいろなかたちに変わり、ふたたびしずくにもとどおり。

ペレのあたらしいふく

エルサ・ベスコフ 作／絵、おのでのりこ 訳 福音館書店 1200円



ペレは、こひつじの毛を刈って糸に紡いで、色を染めて、あたらしいふくを作ろうと思いました。

ロバのシルベスターとまほうの小石

ウィリアム・スタイグ 作、せたていじ 訳 評論社 1300円



シルベスターは、変わった形や色の石を集めるのを楽しみにしていました。ある日、石をひろいにいった彼は、魔法で石にされてしまったのです。おとうさんとおかあさんは、しんぱいで彼を探しはじめました。